

問1 戦国大名が家臣や領民を統制するために制定した、独自の法律を何という？

1. 御成敗式目 2. 分国法 3. 武家諸法度 4. 公事方御定書

問2 戦国時代に、自らの領国を安定して支配し、独自の法律である分国法を定めた指導者を何という？

1. 戦国大名 2. 江戸幕府将軍 3. 鎌倉幕府将軍 4. 摂政関白

問3 1582年に京都の本能寺を襲撃し、主君である織田信長を自害に追い込んだ家臣は誰？

1. 柴田勝家 2. 前田利家 3. 羽柴秀吉 4. 明智光秀

問4 江戸幕府がキリスト教の広がりを抑えるためにとった政策を何という？

1. 廃仏毀釈 2. 鎖国政策 3. 禁教政策 4. 修学旅行

問5 戦国大名が領国支配を強めるために築いた、家臣や商人を呼び寄せて住ませた場所を何という？

1. 城下町 2. 港町 3. 宿場町 4. 門前町

問6 上杉謙信が本拠地とし、優れた統治能力で領土を広げた現在の都道府県はどこ？

1. 甲斐 2. 越後 3. 相模 4. 駿河

問7 1582年、織田信長が天下統一を目前にして明智光秀の襲撃を受け、自害に追い込まれた事件を何という？

1. 応仁の乱 2. 賤ヶ岳の戦い 3. 本能寺の変 4. 山崎の戦い

問8 1560年に尾張へ侵攻し、桶狭間の戦いで織田信長に奇襲されて敗れた駿河の戦国大名は誰？

1. 足利義昭 2. 武田信玄 3. 豊臣秀吉 4. 今川義元

問9 鉄砲伝来が戦い方や城の築き方に大きな影響を与えた時代を何という？

1. 鎌倉時代 2. 戦国時代 3. 江戸時代 4. 安土桃山時代

問10 日本に鉄砲が伝わったのは西暦何年？

1. 1543 2. 1600 3. 1603 4. 1549

問11 桶狭間の戦いで今川氏が衰退したことをきっかけに、独立して勢力を伸ばした武将は誰？

1. 織田信長 2. 豊臣秀吉 3. 徳川家康 4. 今川義元

問12 1560年の桶狭間の戦いで、強大な軍勢を率いた今川義元を破り、全国に名を広めた武将は誰？

1. 武田信玄 2. 豊臣秀吉 3. 徳川家康 4. 織田信長

問13 「甲州法度之次第」を制定したことで知られる、戦国時代の有力な大名は誰？

1. 武田信玄 2. 毛利元就 3. 北条氏康 4. 上杉謙信

問14 越前国（現在の福井県）を本拠地とし、一乗谷を拠点として栄えた戦国大名は誰（どの氏族）か？

1. 武田氏 2. 朝倉氏 3. 今川氏 4. 浅井氏

問15 1560年に織田信長が今川義元を破り、天下統一への足がかりを築いた戦いを何という？

1. 長篠の戦い 2. 姉川の戦い 3. 桶狭間の戦い 4. 小牧・長久手の戦い

問16 上杉謙信が就任した、室町幕府において地方の統治を任される重要な職は何？

1. 守護代 2. 征夷大将軍 3. 室町幕府管領 4. 関東管領

答え合わせ・解説

問1	答え 2 分国法	分国法は、大名が領国内の家臣や領民を統制し、社会秩序を維持するために制定した独自の法律です。ケンカの仲裁や年貢の徴収など、領地内の細かいルールが定められていました。
問2	答え 1 戦国大名	戦国大名は、自らの力で領地を拡大し、独自の軍事力や支配機構を持って領内を統治しました。分国法を定めて家臣や領民を支配下に置き、城下町を発展させるなど地域経済を動かす中心的存在となりました。
問3	答え 4 明智光秀	1582年、毛利氏攻めの援軍に向かう途上、京都の本能寺に宿泊していた信長を、光秀が突然襲撃しました。逃げ場を失った信長は自害し、天下統一を目前にしていた信長の命はここで断たれました。この事件は「本能寺の変」と呼ばれます。
問4	答え 3 禁教政策	江戸幕府はキリスト教の布教を禁止し、宣教師を国外へ追放する政策をとりました。信徒に対しては踏み絵を行わせたり、寺請制度で仏教徒であることを証明させたりして、徹底的に監視しました。
問5	答え 1 城下町	城下町は、大名の居城のまわりに家臣の屋敷や商人の町などを配置して形成された町です。家臣を一箇所に集めて住まわせることで、大名の統制が行き届くようになり、同時に商工業者も呼び寄せて産業を活性化させました。
問6	答え 2 越後	上杉謙信は、この越後を本拠地として、卓越した軍事力と統治力で領土を拡大しました。家臣団をまとめ上げ、民衆の生活を安定させることで強固な地盤を築き、「越後の龍」として恐れられました。
問7	答え 3 本能寺の変	1582年、中国地方の毛利攻めに向かっていた部下の明智光秀が、京都の本能寺に滞在していた信長を突如襲撃しました。信長はこの戦いで自害に追い込まれました。
問8	答え 4 今川義元	1560年、義元は2万以上の大軍を率いて尾張へ侵攻しました。しかし、織田信長が本陣を奇襲するという大胆な作戦を敢行した結果、義元は不意を突かれて討ち取られてしまいました。この戦いは「桶狭間の戦い」と呼ばれます。
問9	答え 2 戦国時代	この時代に伝来した鉄砲は、それまでの弓矢を主とした戦い方を一変させました。防御力の高い石垣を持つ城が必要となり、築城技術も大きく進化しました。織田信長などの強力な指導者がこれらを取り入れることで、効率的な軍事編成が可能になりました。
問10	答え 1 1543	1543年、種子島に漂着したポルトガル人が鉄砲を伝えました。当時の領主であった種子島時堯がこれを受け、すぐさま国内での国産化に成功しました。
問11	答え 3 徳川家康	1560年の桶狭間の戦いで主君である今川義元が織田信長に討たれると、混乱に乗じて三河（現在の愛知県東部）を本拠地として独立を果たしました。信長とは同盟を結び、協力関係を築きながら勢力を拡大していきました。
問12	答え 4 織田信長	1560年、大国である今川義元の軍勢が尾張に攻め込んできました。圧倒的に不利な状況の中で、信長は義元の本陣を狙うという奇策を用い、見事に勝利を収めました。この勝利は当時の人々に大きな衝撃を与え、信長の名前が全国にとどろくきっかけとなりました。
問13	答え 1 武田信玄	武田信玄は「甲州法度之次第」という有名な分国法を制定し、領内の秩序を守りました。また、領内の金山開発や治水工事を積極的に行い、領民の支持を集めました。
問14	答え 2 朝倉氏	朝倉氏は、本拠地である一乗谷に城下町を築き、家臣を一箇所に集めることで領国支配を強めました。一乗谷は当時の政治・経済・文化の拠点として非常に発展し、京都の文化を取り入れるなど高い文化水準を誇りました。
問15	答え 3 桶狭間の戦い	織田信長は圧倒的な兵力差があった今川軍に対し、敵の本陣を急襲する奇襲作戦をとりました。この戦いで今川義元を討ち取ったことは当時の社会に大きな衝撃を与え、信長の名が一躍全国に知れ渡ることとなりました。
問16	答え 4 関東管領	上杉謙信は、周囲の武將たちに押し立てられる形で、名門であった関東管領の職に就任しました。これは彼が単なる地域大名ではなく、幕府から公的な権威を認められたリーダーであることを意味しました。義理を重んじる性格とこの役職の権威が重なり、多くの兵を集めることができました。